

第6回 東京都公文書管理委員会

日時 令和5年11月21日（火曜日）

午前10時30分から

場所 都庁第一本庁舎33階特別会議室N1

次 第

1 委員紹介

2 事務局紹介、挨拶

3 審議事項

(1) 委員長の選出

(2) 委員長代理の指名

(3) 特定歴史公文書等不服審査部会の委員の選出

(4) 特定歴史公文書等不服審査部会長の指名

4 報告事項

(1) 令和4年度における東京都の公文書管理状況

(2) 令和4年度における東京都公文書館利用状況

(3) 公文書管理に係る研修の取組状況

(4) 公文書館利用の促進に向けた取組状況

5 その他

東京都公文書管理委員会 委員名簿

令和5年11月21日現在

氏名	現職
池田 陽子	弁護士
高橋 信行	國學院大學法学部教授
寺田 麻佑	一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科教授
早川 和宏	東洋大学副学長・法学部教授
森本 祥子	東京大学文書館准教授

(50音順・敬称略)

審議事項

審議事項

(1) 委員長の選出

(2) 委員長代理の指名

審議事項

(3) 特定歴史公文書等不服審査部会の委員の選出

特定歴史公文書等不服審査部会(案)

氏名	現職
池田 陽子	弁護士
高橋 信行	國學院大學法学部教授
寺田 麻佑	一橋大学大学院 ソーシャル・データサイエンス研究科教授

(50音順・敬称略)

(4) 特定歴史公文書等不服審査部会長の指名

報告事項

(1) 令和4年度における東京都の公文書管理状況

(2) 令和4年度における東京都公文書館利用状況

(3) 公文書管理に係る研修の取組状況

(4) 公文書館利用の促進に向けた取組状況

1. 令和4年度における東京都の公文書管理状況（1 / 4）

- 令和4年度末時点における公文書の保有件数は、5,960,873件
年間の作成・取得件数は1,150,240件、廃棄件数は1,062,767件であり、
年間で2割程度が入れ替わっている。
- 公文書管理に係る研修には、延べ4,925人が参加
（オンラインや書面開催方式が増加したため、人数把握分のみ）
- 各実施機関の全2,126課等において、公文書の管理に係る点検を実施

（1）保有件数（令和4年度末時点）

（単位：件）

年度	件数	保存期間別					
		1年	3年	5年	10年	30年	その他
令和4年度	5,960,873	1,410,936	1,605,111	1,823,930	286,886	525,360	308,650
令和3年度	5,883,755	1,373,736	1,636,446	1,750,532	276,959	503,386	342,696
令和2年度	5,752,080	1,340,091	1,651,208	1,635,321	268,744	480,468	376,248

※ 文書総合管理システムにおける件数（以下同様）。
公安委員会、警視庁、東京消防庁及び各地方独立行政法人は、同システムを利用していない。

1. 令和4年度における東京都の公文書管理状況（2 / 4）

（2）作成・取得件数（令和4年度末時点）

（単位：件）

年度	件数	保存期間別						保存期間満了後の措置	
		1年	3年	5年	10年	30年	その他	移管	廃棄
令和4年度	1,150,240	449,798	307,762	299,149	26,074	22,572	44,885	15,227	1,135,013
令和3年度	1,152,970	450,344	306,253	303,470	26,859	22,890	43,154	15,934	1,137,036
令和2年度	1,084,204	421,912	294,286	271,084	26,160	23,136	47,626	16,318	1,067,886

（3）廃棄件数

（単位：件）

年度	件数	保存期間別					重要な公文書（内数）
		1年	3年	5年	10年	その他	
令和4年度	1,062,767	413,434	335,142	220,128	16,829	77,234	69,853
令和3年度	1,016,267	407,345	319,457	193,179	18,279	78,007	59,261
令和2年度	1,041,013	423,248	313,723	201,169	18,755	84,118	64,164

※ 「重要な公文書」とは、「決定権者が部長以上の職にあり、かつ、保存期間が5年以上の起案文書」等（知事部局の場合）

1. 令和4年度における東京都の公文書管理状況（3 / 4）

（4）その他の件数

（単位：件）

年度	保存期間を延長した公文書	滅失した公文書	保存期間満了前に特別の必要が生じて廃棄手続をした公文書
令和4年度	1,642	48	477
令和3年度	1,119	29	973
令和2年度	666	65	1,167

（5）公文書管理に係る研修の実施状況

（単位：回・人）

年度	実施回数	延べ参加者数
令和4年度	104	4,925
令和3年度	107	5,564
令和2年度	106	5,094

- ※ オンラインや書面開催方式で参加者を把握していないもの（受講登録不要のもの）は、実施回数のみ計上
- ※ 上記のほか、eラーニング、上記研修の参加者による職場内研修、説明会等が実施されている。

1. 令和4年度における東京都の公文書管理状況（4 / 4）

（6）公文書に係る点検の実施状況

（単位：件）

課等の数	実施した課等の数	実施回数		
		1回	2回	3回以上
2,126	2,126	1,638	459	29

- ※ 東京都公文書等の管理に関する条例第12条の規定に基づき、毎年度、公文書の管理状況の点検を実施。
- ※ 原則、課を単位として実施し、各課等の状況に応じ、2回以上実施することもある。

【主な点検項目】

- ・ 重要な事案について経過資料を作成するとともに、起案文書への添付等を行っているか。
- ・ 公文書の保存期間について、適切に設定するとともに、必要に応じて見直しを行っているか。
- ・ 公文書を廃棄するときは、必要事項を記載した起案文書によって、廃棄する旨の決定をしているか。
- ・ 文書総合管理システムにおいて、登録、保存等の所要の処理が行われているか。

（7）歴史公文書等の移管件数

（単位：件）

歴史公文書等の移管件数		
令和2年度	令和3年度	令和4年度
1,397	8,641	7,393

- ※ 件数は、起案文書の数を用いる。

2. 令和4年度における東京都公文書館利用状況（1 / 5）

（1）利用状況

ア 閲覧室入室者数

（単位：人）

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
閲覧室入室者数		1,530	1,971	2,449
内 訳	一般	697	1,110	1,200
	実施機関	453	525	524
	国・自治体職員	146	55	75
	閲覧室のみ利用	234	281	650

※ 「閲覧室のみ利用」とは、開架図書（紙目録等を含む。）、検索システム又はデジタルアーカイブの利用のみの場合をいう。

イ レファレンスの受付状況

（単位：件）

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
受付数	255	376	358

2. 令和4年度における東京都公文書館利用状況（2 / 5）

ウ 文書等の利用状況

(ア) 利用請求の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
利用請求文書件数 (目録単位)	523	1,258	369
都文書	34	147	70
都文書以外	489	1,111	299
利用請求人数 (延べ)	95	178	99

注1：申請日基準で計上している。

注2：都文書以外とは、江戸明治期史料や東京府、東京市からの引継ぎ文書等をいう。

(イ) 簡易閲覧等利用者数

(単位：人)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
原本閲覧者数	600	714	817
マイクロフィルム 閲覧者数	232	331	313
電磁的記録媒体 閲覧者数	516	886	923

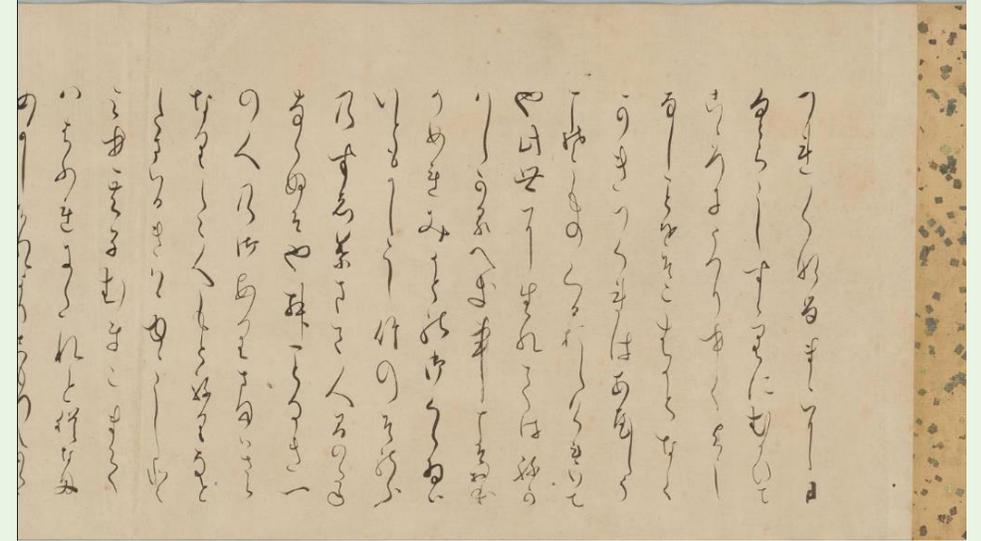
2. 令和4年度における東京都公文書館利用状況（3 / 5）

(ウ) デジタルアーカイブ登録件数

(年度末時点の件数)

資料種別	令和2年度	令和3年度	令和4年度
江戸明治期史料	265	509	779
公文書_簿冊	295	295	295
公文書_件名_府市	1	1	1
地図	91	109	109
視聴覚資料	131	131	131
その他	201	201	201
計	984	1,246	1,516

- ・令和4年度新規登録 江戸明治期史料270件
 <資料の例> 楽翁公写本徒然草



エ インターネットを利用した普及事業におけるアクセス件数等

(年度末時点の件数)

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ホームページ アクセス件数	918,937	904,081	804,558
情報検索システム アクセス件数	94,460	101,115	109,423
Facebook 閲覧回数	681,544	760,095	869,136
X (旧Twitter) フォロワー数	4,518	4,847	5,239

※Facebook及びX (旧Twitter) では、所蔵資料の紹介や展示事業等の活動について、週2回コンテンツを更新している。

- ・アクセス件数が多かったページ：「大東京35区物語」「日本橋の麒麟像」

- ・SNSでは、企画展示を紹介する投稿のほか、鉄道に関する記事や、多摩地域の山城に関する記事へのアクセスが多い。

2. 令和4年度における東京都公文書館利用状況（4／5）

オ 所蔵資料展の開催状況

（ア）常設展示

「東京の軌跡」と題し、江戸・東京の歴史を豊富な所蔵資料でたどる形で紹介した。また、常設展示室の一画に設けた企画コーナーでは、テーマを設定して多様な所蔵資料を紹介している。令和4年度は次のとおり5回の展示を行った。

- ①「公報の源流をたどる～『日誌』の登場」
- ②「公報の源流をたどる～『新聞紙』の登場」
- ③「首都東京の歴史的景観 狛犬・お屋敷・橋」
- ④「江戸・東京を襲った大地震の実像」
- ⑤「史料に見る桜の名所」

（イ）企画展示

区分	題名	開催期間	会場
企画展示	東京の鉄道と地域 ～鉄道開業150年記念	7月25日～9月20日	東京都公文書館
企画展示	史料に見る国分寺のあゆみ ～江戸時代の村々～	10月21日～12月20日	東京都公文書館
公益財団法人特別区協議会との共催パネル展	東京の鉄道と地域	1月11日～2月28日	東京区政会館1階 エントランスホール

2. 令和4年度における東京都公文書館利用状況（5 / 5）

（2）史料編さん事業

都における史料編さん事業は、旧東京府・東京市の事業を継承して今日に及んでおり、着手以来既に一世紀を超える歴史をもっている。令和2年度に明治以来の継承事業である「東京市史稿」の刊行事業を完結し、令和3年度に新たな資料集として「東京都公文書館資料叢書」の編さん事業を開始したほか、「都史資料集成」の編さん、「都史紀要」及び「史料復刻」の刊行などを行っている。



世紀を超えて継続刊行された「東京市史稿」



明治45年（1912年）「東京市史稿」刊行開始の雑誌広告（「文章世界」7巻2号）

3. 公文書管理に係る研修の取組状況（1 / 4）

（1）文書事務研修

ア 目的

新規採用職員を対象に、文書事務の重要性を認識するほか、正しく起案するための必要な知識を習得するとともに、更なる知識の習得や能力の向上に向けた学習のきっかけとさせる。

イ 時期・方法

10月～11月・ eラーニング

ウ 主な内容

- ・ 文書事務の流れ
- ・ 文書の起案
- ・ 文書の決定関与
- ・ 文書回付の順序

※研修内容に係る確認テストを全問正解することで受講完了となる。

3. 公文書管理に係る研修の取組状況（2 / 4）

（2）文書事務講習会

ア 目的

各局文書事務担当職員等を対象に、文書事務に関する知識を付与し、実務能力を向上させるとともに、各局との相互連携を図る。

イ 時期・方法

4月・会場及びオンラインの併用方式

ウ 主な内容

- ・ 公文書管理の規程について
- ・ 文書総合管理システムの役割
- ・ 文書主任、文書取扱主任、ファイル責任者の役割
- ・ 文書管理における公文書館の役割

3. 公文書管理に係る研修の取組状況（3 / 4）

（3）総務局実務研修「文書事務（基礎編）」

ア 目的

総務局等職員を対象に、文書事務に関する知識を付与し、実務能力の向上を図るとともに、基礎的知識習得の機会を作る。

イ 時期・方法

6月～7月・オンライン方式

ウ 主な内容

- ・ 公文書管理の規程について
- ・ 文書総合管理システムの役割
- ・ 公文書管理に関する実務と関係規定について
- ・ 公文書館の役割（移管、整理、保存、利用）

※ 上記のほか、各局等で実施している研修、各研修の参加者による職場内研修、説明会等が実施されている。

3. 公文書管理に係る研修の取組状況（4 / 4）

（4）歴史公文書等の適切な保存及び移管の確保に関する研修

ア 目的

公文書の作成、保存、移管、利用といった文書のライフサイクルを通して統一的に管理することを定めた、都における文書管理制度を理解する。

イ 時期・方法

7月～9月・eラーニング

※ 令和2年度から令和4年度までは、主に各局ファイル責任者等を対象として書面開催により実施してきたが、多くの職員に対し、公文書のライフサイクルへの理解を促進するため、令和5年度から研修対象者の範囲を統括課長代理級以下の全職員に拡大し、受講方法をeラーニングとした。

ウ 主な内容

- ・ 東京都公文書等の管理に関する条例のポイント
- ・ 歴史公文書制度（移管と保存、利用請求）
- ・ 東京都公文書館の役割
- ・ 歴史公文書等の適正な管理

4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況（1 / 6）

1 利用の促進に向けた取組「普及活動」の概要

- 東京都公文書等の管理に関する条例
(利用の促進)

第24条 知事は、特定歴史公文書等（第19条の規定により利用させることができるものに限る。）について、**展示その他の方法により積極的に一般の利用に供する**よう努めなければならない。

- 東京都公文書館条例
(事業)

第2条 公文書館は、次の事業を行う。

1 から 5 まで (略)

6 歴史公文書等の**利用の促進を図るための普及活動を行うこと。**

7 及び 8 (略)

公文書館の事業として
普及活動を位置づけ

(1) 展示・講演会、連携事業

- 江戸・東京の歴史をたどる常設展示のほか、年 2 回程度の企画展示と関連講演を実施
- 自治体や公益財団法人特別区協議会との連携事業を実施

(2) 刊行物、インターネットを利用した普及事業

- 都民に情報提供する広報誌として「東京都公文書館だより」を年 2 回発行
- ホームページ ➤ 当館の利用案内、紹介動画の公開など
- 東京都公文書館情報検索システム ➤ 令和 5 年 2 月にシステム更新
- SNS の活用 ➤ Facebook、X (旧Twitter)、Instagramによる情報発信

(3) 所蔵資料の利用、掲載放映

- 所蔵資料が教材、新聞記事等に掲載放映され、利用件数が増加

4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況（2 / 6）

2 主な活動実績（展示・講演会）

□「東京の鉄道と地域～鉄道開業150年記念」

（開催期間：令和4年7月25日～同年9月20日、会場：東京都公文書館）

展示の目的

明治期から昭和戦前期に至る、重要文化財にも指定されている東京の鉄道関係の公文書等を企画展示し、来館のきっかけとすることで、公文書館の認知度向上及び特定歴史公文書等の利用の促進を図る。

企画テーマ

わが国初の鉄道路線が開業して150年という節目の年に、東京における鉄道の発展経過をたどり、その影響を地域の視点から捉える。

展示の概要（構成）

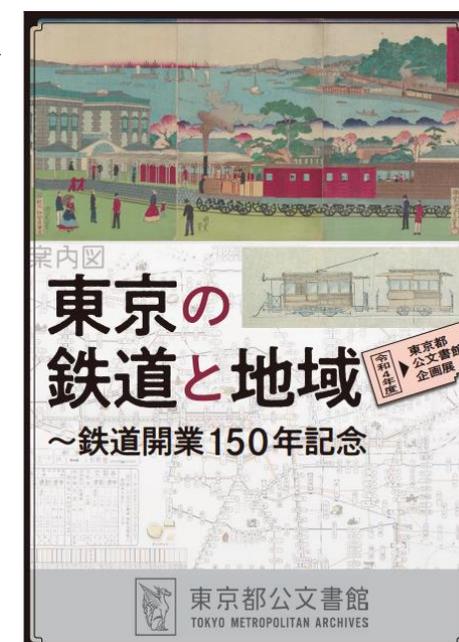
- I 鉄道開業～新橋・横浜間鉄道、II 馬車鉄道から市街鉄道へ、III 多摩地域の鉄道、IV 都市の発展と鉄道、V 市電から都電へ～さくらトラムの源流をたどって

講演会

- ・公文書から見た新橋・横浜間鉄道の開業事情
- ・考古学から見た開業期の鉄道について

新しい試み

- ・講演会の記録を映像として残し、後日、視聴申込者に動画を公開
- ・夏休みと重なる開催期間であったため、子供にターゲットを当てたイベントを実施



4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況（3 / 6）

3 主な活動実績（連携事業）

自治体との連携① 展示・講演会

- 東京都公文書館・国分寺市教育委員会共催企画展「史料に見る国分寺のあゆみ」
（開催期間：令和4年10月21日～同年12月20日、会場：東京都公文書館）

展示関連講座

- 令和4年10月5日：もとまち公民館連続歴史講座第5回「武蔵国分寺跡の史蹟指定とその背景」
- 令和4年10月29日：武蔵国分寺跡史蹟指定100周年記念歴史講座「本多雖軒と国分寺の地域医療」
- 令和4年11月12日：武蔵国分寺跡史蹟指定100周年記念歴史講座「玉川上水と国分寺市内の分水」

初の自治体連携展示

当初は、開館年の令和2年秋に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症対策により延期となった。このことにより、奇しくも国分寺市の記念イベント「武蔵国分寺跡史蹟指定100周年記念」に関連した展示となった。

自治体との連携② 市域の取組に参加

- 国分寺市観光まちづくり協議会「史跡武蔵国分寺跡 春のライトアップ2023」
（開催期間：令和5年3月22日～同年4月9日、会場：武蔵国分寺跡）

関連講座（会場：東京都公文書館）

- 令和5年3月25日：国分寺市の武蔵国分寺跡
同日：東京都公文書館の紹介

4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況（4 / 6）

3 主な活動実績（連携事業）

特別区協議会との連携（年1回）① 展示・講演会

- 令和4年度 特別区協議会・東京都公文書館会共催パネル展「**東京の鉄道と地域**」
（開催期間：令和5年1月11日～同年2月28日、会場：東京区政会館）

展示関連講座

- 令和5年1月31日 「**公文書で探る東京の鉄道と地域**」 東京都立大学オープンユニバーシティ
当館職員2名を派遣 「鉄道開業と芝・高輪地域」・「都市の発展と鉄道」の2講演を実施

特別区協議会との連携（年1回）② セミナー

- **第11回特別区協議会・東京都公文書館共催セミナー「公文書管理法と自治体の課題～公文書館機能を導入するために」**

（開催日：令和5年1月12日、会場：特別区職員研修所）

講演

- ・アーキビスト認証制度について
- ・基礎的自治体における公文書館機能と求められる専門性

対象者

都内区市町村の文書管理担当職員

4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況（5 / 6）

4 主な活動実績（刊行物、インターネットを利用した普及事業）

□ 刊行物

名称	発行実績
東京都公文書館だより	刊行：年2回（9月、3月） 発行部数：2,000部
ちょっと書庫まで行ってきます ～東京都公文書館SNSの世界～（当館所蔵資料の広報）	刊行：平成30年3月（有償100部・無償800部） 配布箇所：都道府県図書館、公文書館類縁機関 等

□ インターネットを利用した普及事業

媒体	活動実績
公文書館ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> ・年間アクセス数：804,558件（令和4年度） ・当館の情報発信の拠点とする。 ・館内利用案内・展示情報をはじめ、情報検索システム・デジタルアーカイブ・SNSへの入口である。 ・資料紹介「江戸・東京を知る」ページへのアクセスが多く、これまで蓄積した情報を閲覧するユーザーが多い。 ・刊行物『東京市史稿』目次は、歴史年表や資料出典情報としての役割を担っている。
情報検索システム	<ul style="list-style-type: none"> ・年間アクセス数：109,423件（令和4年度） ・令和5年2月にシステムを更新し改善を図る。
デジタルアーカイブ	<ul style="list-style-type: none"> ・提供資料数：1,516点（令和5年3月） ・メディアや教科書に掲載された資料画像の掲載利用希望が増加 例：虎列刺退治〔コレラタイチ〕
公文書館SNS	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年（2014年）から配信開始 ・当初はFacebook・X（旧Twitter）にて原則月、水、金に配信 ・現在はFacebook・Instagramにて原則火、木に配信

4. 公文書館利用の促進に向けた取組状況 (6 / 6)

5 主な活動実績 (所蔵資料の利用 掲載放映)

虎列刺退治〔コレラタイチ〕

デジタルアーカイブ その他<絵画・書>に掲載
アクセス数が多い画像
教科書・副教材等に利用されている。



大正12年9月東京府大震災写真帖 砂町小学校内避難民収容状況

新聞記事に資料画像が掲載されて利用増
関東大震災100年に関連して、イベント等において、現在の避難所風景と比較するために利用されている。

